

シルバー流山

第 141 号 平成 26 年 3 月 15 日

発行 公益社団法人 流山市シルバー人材センター

〒270-0114 流山市東初石 3-103-18 TEL 04-7155-3669

URL: <http://www.sjc.ne.jp/nagareyama/> E-mail: nagareyama@sjc.ne.jp

3



30周年にあたって

紅谷 幸夫

公益社団法人 流山市シルバー人材センターは、昭和 59 年 2 月の発足以来 30 年を経過し、高齢化の進行、情報化社会の進展のなかで、大きく変化してまいりました。

国、千葉県、流山市のご指導のもと、各種事業運営はもとより、公益社団法人への移行等時代の要請に伴い多くの改革を行ってきたところです。その詳細につきましては、本会報に「30 周年記念号」を添付させていただいておりますので、ご参照いただければと存じます。

公益社団法人としてより多くの市民に、当センターの設置主旨を理解していただき、会員一人ひとりが地域社会に貢献することを目的とした就労活動であることを再認識しようと、これまで節目節目で実施してきた式典の開催等を実施しないで、30 周年記念号を作成配布することとさせていただきました。ご理解賜りたいと存じます。

当センターは増加する会員への就業場所の確保拡大に向けて、特に、流山市からの指定管理者受注に努め、25 年度から自転車駐車場管理業務、そして 26 年度からの高齢者福祉センター森の倶楽部及び高齢者趣味の家、北部公民館のそれぞれの指定管理業務を受託することで準備を進めています。

今後、定年延長に伴う団塊の世代のシルバーへの加入をはじめ、高齢者人口の増加とともに、シルバー人材センターもますます大きな役割を担っていくことが求められています。市内には多くの NPO 法人があり、その運営を高齢者世代が担っていると言われております。お互いに求めるところには共通するものがあり、協力し合って市民福祉の向上に努めていきたいものです。

シルバー人材センターの基本理念は、自分たちで自主的に考える「自主」、自分たちの力でつくり育てる「自立」、みんなと一緒に働く「共働」、共に助け合う「共助」です。健康で働く意欲のある高齢者が、知識・経験・技能などを活かし、高齢者にふさわしい就業を通じて、社会参加することにより、「いきがい」を得て、地域社会の活性化を図っていくという目的で運営されています。

福祉の「福」は「幸せ」という意味で、福祉の「祉」も「幸福」という意味だそうです。そこで「福祉」とは「すべての人に等しくもたらされるべき幸福」ということになるのだそうです。一人ひとりが幸福に感じ、すべての人が平等に感じられる社会の実現に向けて少しでも前進していければと思います。

高齢者福祉の担い手としての公益社団法人として、シルバー人材センターに仕事を頼んでよかった、シルバー人材センターの会員でよかったといわれる組織づくり、会員づくりをし、今後 40 年、50 年と継続して市民に喜ばれるようにしていかなければと思います。

本会報につきましては、シルバー会員以外にもお読みいただいております。是非、当センターの主旨をご理解いただき、まだまだ、発展途上の法人であると認識しておりますので、多くの方々のご支援ご協力をいただければと存じます。

今後ともよろしくご願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。



互助会からの重要なお知らせ 《平成 26 年度の会費不徴収》

互助会長 平澤 正征

当シルバー互助会は、平成 26 年度は平成 25 年度からの繰越金で運営することになりました。平成 27 年度以降につきましては、「互助会のあり方に関するアンケート」（別紙）結果を参考にして、「新組織による運営案」をまとめ、本年 6 月 1 日開催予定の定期総会に諮ります。このため、**平成 26 年度の互助会費「1,200 円は徴収いたしません。」**ので、ご承知おきください。

シルバーも地域社会の担い手だ

理事会

活動報告



『平成 25 年度第 11 回理事会』

2 月 10 日 (月)

【報告事項】

- ① 事業実績は 12 月末現在の対前年比で会員数 43 名増、契約金額 2100 万円増、就業実人員 42 名増と順調に推移しています。全国的にシルバー人材センターは会員数・契約金額等減少傾向にありますが当シルバーは拡大しています。
- ② 2 月 25 日 (火) に東小学校に於いて植栽班の技能向上研修をボランティア活動として実施します。
- ③ 1 月 20 日 (月) に本年度最後の接遇研修を 23 名の参加で実施しました。今後の業務にも役立つと、非常に好評で来年度も継続の予定です。
- ④ 3 月 1 日 (土) より自転車駐車場の新年度の受付が始まります。市民農園は 3 月 10 日 (月) に空き区画の新規受付を行います。

【協議事項】

- ① 9 名の新入会員の承認、3 名の退会会員の報告がありました。
- ② 平成 26 年度事業計画案と収支予算案が提示され、3 月の理事会で承認の予定です。
- ③ 次期理事及び監事候補者が推薦委員会から答申され、3 月の理事会で 18 名の候補者を選定し、6 月の定時総会に諮ります。
- ④ 公益社団法人として互助会組織の在り方を検討し、2 月 12 日 (水) の互助会役員会に、会員全員のアンケートの実施等を提案します。 (増田 憲二・記)

委員会

『事業運営推進委員会』 3 月 5 日 (水)

月次報告及び各委員会等の定例報告、労働者派遣事業届出、「創立 30 周年記念号」の発行、植栽技能講習会、障子・襖等技能講習会、自転車駐車場受付状況、市民農園受付状況、新たな指定管理施設の運営開始について確認し、新入会員と退会会員の確認、平成 26 年度事業計画案及び予算案、次期理事及び監事候補者の選考、互助会のあり方、平成 25 年度会費未納者への対応、除草班グループ長の承認、消費税改定に伴う配分金の取扱いについて協議しました。 (前田 良助・記)

『適正就業委員会』 2 月 4 日 (金)

新年度の事業計画の検討と就業適正問題に関して検討しました。指定管理者の契約更新に伴う新規職場の重点訪問。アンケート分析結果の検討。長期就業者の交代時期の分散化への配慮。派遣就業への取り組みの経過報告を事務局から受けました。会員の就業適正に係る問題について、今回は事務局より直接本人へ説明を行うことを確認しました。(岡野 三雄・記)

『福社会館等館長会議』 2 月 24 日 (月)

平成 26 年度シルバー人材センターの事業計画案について、指定管理者事業の運営の変更部分を確認し、更に各館の平成 26 年度事業計画書・収支予算書原案を検討しました。事務局とのインターネット接続について、コストと効果については各館の判断が一致せず継続テーマとなりました。新年度から森の倶楽部も館長会議のメンバーに加わった方が効率的と判断しました。 (増田 憲二・記)

気を抜くな心のゆるみ落とし穴

互助会だより

互助会の歩む道

会員互助会会長 平澤 正 征

公益社団法人流山市シルバー人材センターが、設立30周年を迎えることになりましたことは誠に
ご同慶にたえません。これまでに役員また会員皆様のご努力と市行政をはじめ関係者各位のご支援の
賜と存じます。会員互助会も『自主・自立』『共働・共助』のもと、流山市シルバー人材センターと
共に歩んでまいりました。特に、主催事業である慶弔制度・同好会・旅行・運動会等、に多数の会員
皆様の積極的な参加、ご協力を賜りありがとうございました。

会員互助会は、設立以来23年の歴史があり、『共働・共助』による就業という目的と会員の親睦、
団結力を高めるものとして、重要な役割を果たしてきました。公益社団法人は、『不特定かつ多数の
者の利益の増進に寄与する』という目的をもっており、会員互助会は、『公益社団法人流山市シルバ
ー人材センターの会員のみで組織されており、特定された者の集合体』であるとされることから、シル
バー本体とは別個の組織で運営することになります。

ますます、高齢化社会が進むなか『共働・共助』のためにも、任意団体として存続が必要と思われ
ますと共に、会員の親睦をより一層深め、また健康で活力ある生活を応援し、活気ある団体となるよ
う微力ながら尽力してまいります。

最後になりましたが、会員の皆様の健康を祈念しまして挨拶と致します。



親睦バスハイキングを終えて

2月23日(日)50名の参加で出発！予定よりも早く国会議事堂に到着し
ました。持物検査を受けて、赤い絨毯へと進み衆議院を見学しました。平日
だと修学旅行も含めて、一日一万人もの見学者があるそうですが、幸い日曜
日でしたので、混雑することも無く450畳もある本会議場の傍聴席で説明を
聞きました。1936年に当時、254万人・2570万円で完成し、内部は、大理
石・沖縄産のサンゴ石灰石が使用されており、重厚で威厳を感じ日本の政治
を司るに相応しい建物だと思いました。



昼食は和の膳を堪能して、サンシャインシティ内で水族館・展望台・買物
など思い思いに楽しみ、シニア料金でちょっとお得なひと時でした。

池袋防災館では、消火器の使い方をマスターし、実際の煙の中を低姿勢で避難したり、東日本大震
災と同じ震度7を体験しました。また、東日本大震災の当時の映像を見たりと、日頃の備蓄(特にお
水)の大切さを痛感しました。「東京マラソン」開催で行程の変更による影響もなく、充実した一日
を過ごす事が出来ました。(神田 英子・記)

『グランドゴルフ同好会』 【毎週：月・水 13:00～ほっとプラザ下花輪】

2月は記録的な大雪に見舞われ、ほっとプラザのグランドは30cmを超える積雪によって、ゴルフは2
開催が中止になりました。それでも、2月3日に開催した定例会では、互助会と同好会のあり方について
真剣に話し合い、皆さん方からそれぞれの意見が出されました。その結果、グランドゴルフ同好会は今後
どのような展開になっても、存続と結束を高めることを参加者全員で確認しました。2週間振りに再開し
た24日は、出席者が26名を超える盛況さで、腕自慢の諸氏が思う存分に競技を楽しんでいました。同好
会は4月7日(月)、平成25年度総会を開催する予定です。詳細はご案内をご覧ください。

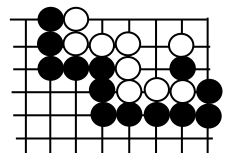
(山田 良光・記)

『パソコン同好会』 2/18(火)【次回：3/18(火)13:00～コミプラ】

①ウインドウズXPのサービス終了：3月末でセキュリティー対応等が無くなります。どうしてもXP
を使う場合ウイルス感染等に細心の注意が必要です。②オープンオフィス：無償でエクセル、ワード
等によく似たソフトが利用できます。但し、マクロの互換性は無いそうです。③PC同好会の今後の
ありようについて話をしました。(上 辰男・記)

『囲碁同好会』 2/16(日)【次回3/30(日)9:30～コミプラ】

2月行はれた棋聖戦第3局で、プロが40手以上先を読んだ手順を勉強しました。
せめて10手先位は楽に読みたいものです。先月号でもお知らせしましたが次回3月
30日(日)は総会兼、春の囲碁大会です。多数の方の参加をお待ちしております。



黒先 結果如何
日本棋院詰碁より

今回の詰め碁は、カッコよく黒勝です。(早川 鉞幸・記)

『写真同好会』 2/25(火) 【次回：3/25(火) 13:30～16:00 コミプラ】

2月の例会はコミュニティプラザにて13:30～開催しました。26年度の活動について
話し合いました。具体的なことは、3月の例会にて決定しますのでよろしくお願ひします。

2月度写真作品発表会 (敬称省略) <<写真「蓮」・撮影「上 辰夫」>>

1回目 1位：上 辰男 2位：山田政利 3位：柴崎 隆

2回目 1位：山田政利 2位：宅間昭治 3位：上 辰男・川口美明 (川口 美明・記)



刈払い気配り目配り飛び石に注意

事務局だより

会員数：平成26年2月28日現在

計 738 男性 600 女性 138

3月の予定

日	曜	行事予定
15	土	「シルバ一流山」発行 学習教室 PC教室
16	日	PC教室
17	月	入会登録説明会(南流山C)
18	火	
19	水	
20	木	配分金支払日 学習教室
21	金	
22	土	学習教室 PC教室
23	日	PC教室
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	学習教室
28	金	
29	土	PC教室
30	日	PC教室
31	月	

4月の予定

日	曜	行事予定
1	火	指定管理開始①北部公民館②森の倶楽部他
2	水	事業運営推進委員会
3	木	学習教室
4	金	広報編集委員会
5	土	学習教室 PC教室
6	日	PC教室
7	月	理事会 入会登録説明会(初石C)
8	火	
9	水	
10	木	学習教室
11	金	
12	土	学習教室 PC教室
13	日	PC教室
14	月	入会登録説明会(南流山C) 福社会館等館長会議
15	火	「シルバ一流山」発行

◎新会員のご紹介 (敬称略) ○数字は地区名

⑤庭山和代・塚本文江 ⑥細矢孝夫 ⑦八塚聖子・恵本美江子・三浦恭子 ⑧高橋正克
⑨野田元喜・浅野歌代子 ⑩増田良太郎

◎「シルバー人材センター」愛称募集 (全国シルバー人材センター事業協会)

1. 趣 旨 : シルバー人材センターは、全国に1,299団体、74万人の会員がそれぞれの地域で生きいきと活動し、地域の皆様に利用されております。利用者をはじめ、地域の皆様に愛され親しまれる団体として、広く利用されることを目的に愛称を募集します。

2. 募集締切：平成26年4月30日

3. 応募資格：どなたでも応募可

4. 応募方法：一人1点 ①愛称 ②愛称の説明(100字以内) ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤性別 ⑥住所 ⑦電話番号(携帯電話可)を明記し、ハガキ・FAXまたは電子メールで(電子メールは、表題を「シルバー人材センター愛称応募」としてください。)

5. 応募先：ハガキ 〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-22 東陽ANビル3F
公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会
FAX 03-5665-8021 電子メール zsk@sjc.ne.jp

6. 選考結果：採用作品1点(賞状と副賞) 次席作品数点(賞状と副賞)

◎学習教室(初石学習教室)から生徒募集のお知らせ

設立以来9年、多数の児童を卒業させ、現在50名の児童を教えています。4月からの新規児童を募集します。ご家族の方や知り合いの方で入室を希望する方がおりましたら、ぜひご紹介ください。

国語・算数 (木曜日 5・6年生 17時から19時)

(土曜日 3・4年生 10時から12時 5・6年生 13時から15時)

※詳細はシルバー事務局に案内書があります。 ☎ 7155-3669

編集後記

継続は力なりといいますが、シルバー人材センターが30年の歴史を刻んだことはとてもすばらしいと思います。このことは関係者各位の支援もありますが、シルバー会員一人ひとりの職場での日々の努力の積み重ねがもたらした結果だと思います。40年、50年と更にシルバーのページが刻まれるよう皆様と共に頑張りたいです。

<編集委員>

増田憲二 川口美明
磯前紀子 小林富二男
加藤吉彦 赤木政雄
海老原廣雄

危ないと思ったら すぐやめよう